

## 第 11 回定期総会報告

2022 年 6 月 18 日（土）午後 4 時 15 分ごろから約 1 時間、NPO 法人ラマーミトゥルの会の定期総会が開催され、正会員 43 名中出席 12 名、委任状 23 名、代理出席 1 名でしたので総会は成立しました。総会議長は山崎凡で、資格審査や総会運営についても担当しました。山崎シルヴァ理事長は、あいさつと一般経過報告、会計報告を行い、監査報告は白石監事が出席できず書面での報告になりました。

一般経過報告、会計報告、監査報告では、スリランカの小学校 5 年生時の奨学金試験「シッシャッタ」について質問があり、一定の収入に達しない世帯の児童が対象で奨学金と進学先を選ぶ権利を得ることができる試験との説明がありました。2021 年度は会の発足から 10 周年になり、通常の支援金の他にこれまで 10 年間で訪問・交流した 27 校（議案書、ホームページ参照）に、「シッシャッタ」の過去 10 年間の問題集を寄贈しています。地方の小規模小学校にはいきわたっていないそうです。また、会員数の増減についても質問があり、今年度は前年度より若干増加しましたが、110 名近くの時点からは減少傾向が続いています。賛助会員と合わせ 97 名の他に、寄付をしていただく方が毎年 20 名前後いらっしゃる事が報告されました。 — 承認 —

活動方針、予算案については、今年度は何としても交流支援ツアーを再開したいと理事長から提案されました。ただ、コロナの感染状況や外貨不足による国内の政情不安もあり、確定的なことは言えない状況です。また、日本国内ではこれまで休止していた子ども食堂や各種イベントが再開され始めています。それらに積極的に参加していく予定です。そして、インターネットによるスリランカと日本の子供たちの交流に向けて、いろいろと意見が出されました。スリランカと日本の学校への要請や通訳をどうするかなどの課題もありますが、実現に向けて取り組もうとなりました。 — 承認 —

役員選出は、前理事の留任と新任理事 2 名を選出しました。10 年前の会の結成時から応援してくださった江波洋子さんと、西東京市市民活動支援センター「ゆめこらぼ」に勤務され、ラマーミトゥルの会のホームページ作成に協力していただいている中村星太さんです。新たな理事会体制で 2022 年度の活動を進めていくことを確認して第 11 回定期総会を終了しました。

\* 総会終了後、スリランカの仏教徒のお祭り「ウェサック」や、これまでの 10 年間の活動を振り返るスライドを見ました。そして、スリランカの民族衣装「サーリ」と「サロン」の簡単な着付けを紹介し記念写真を撮りました。

（山崎凡 記）